個人投資家さま向け説明会

KDDIの
事業概要と成長戦略

2019年12月12日

KDDI株式会社

経営管理本部 IR室長
堀井 啓太

本日のご説明

1．KDDIについて

2．成長戦略

－2020.3期～2022.3期 中期経営計画－

3．株主還元

この配付資料に記載されている業績目標、契約数目標、将来の見通し、戦略その他の歴史的事実以外の記述はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは国内外の経済環境、競争状況、法令・規制・制度の制定改廃、政府機関の行為・介入、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績、契約数、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。

1. KDDIについて

会社概要

代表取締役社長

たか はし まこと
髙橋 誠

商　号	KDDI株式会社
創　業	1984年6月1日
主要株主の状況 *1	京セラ株式会社 13.23% トヨタ自動車株式会社 11.78%
資本金	1,419億円
連結従業員数	41,996人 *2
証券コード	東京証券取引所第一部 9433

株価/単元株式数	3,139円/100株	*3
時価総額	7.4兆円	*3
配当利回り	3.50%	*4
PBR（株価純資産倍率）	1.76倍	*5
PER（株価収益率）	11.80倍	*6

*1：出資比率ベース（2019年3月末時点）　*2：2019年3月末時点　*3：2019年11月29日終値ベース　*4：2019年3月期配当予想と2019年11月29日終値より算出　*5：2019年3月期実績と2019年11月29日終値より算出　*6：2020年3月期EPS予想と2019年11月29日終値より算出

沿革

携帯電話の普及 → スマートフォンの浸透 → 通信とライフデザインの融合

2000年
KDDI発足

DDI + KDD + IDO

KDDI

2002年
「着うた」開始

2004.3期～2008.3期
純増シェア 5期連続No.1

2011年
KDDI初の
iPhone発売

2012年

auスマートバリュー

スマホ ＋ インターネット

2014年
「au WALLET」開始

2016年
「auでんき」開始

2017年
「Wowma!」開始

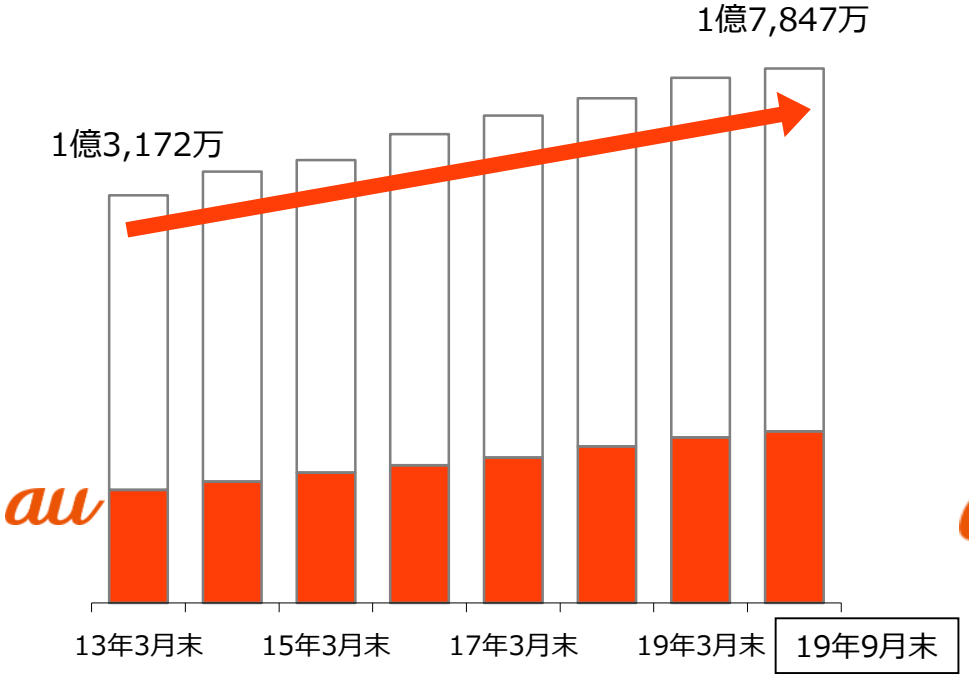
2018年
教育事業参入

2019年
auフィナンシャルホールディングス設立

au Financial Group

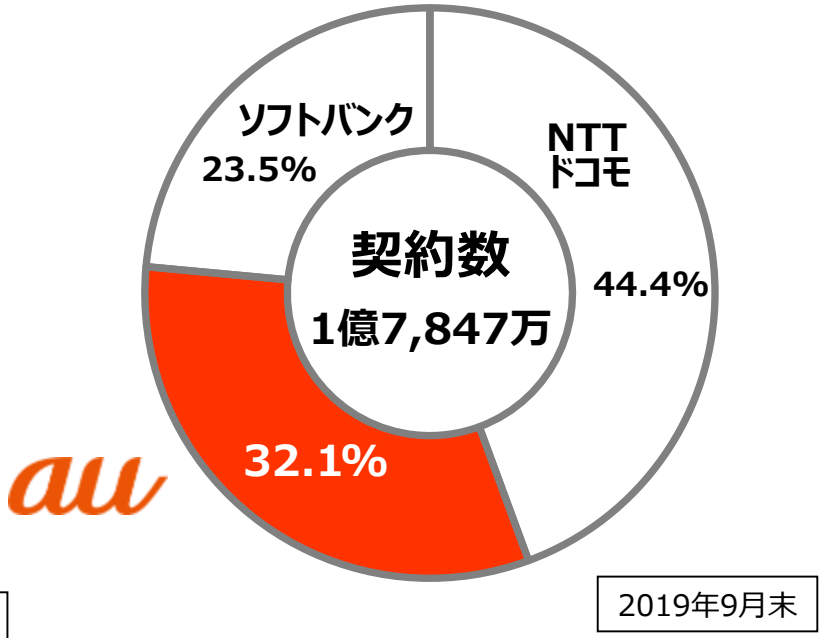
日本のモバイル通信市場

携帯電話契約数



出典：一般社団法人電気通信事業者協会、事業者別契約数

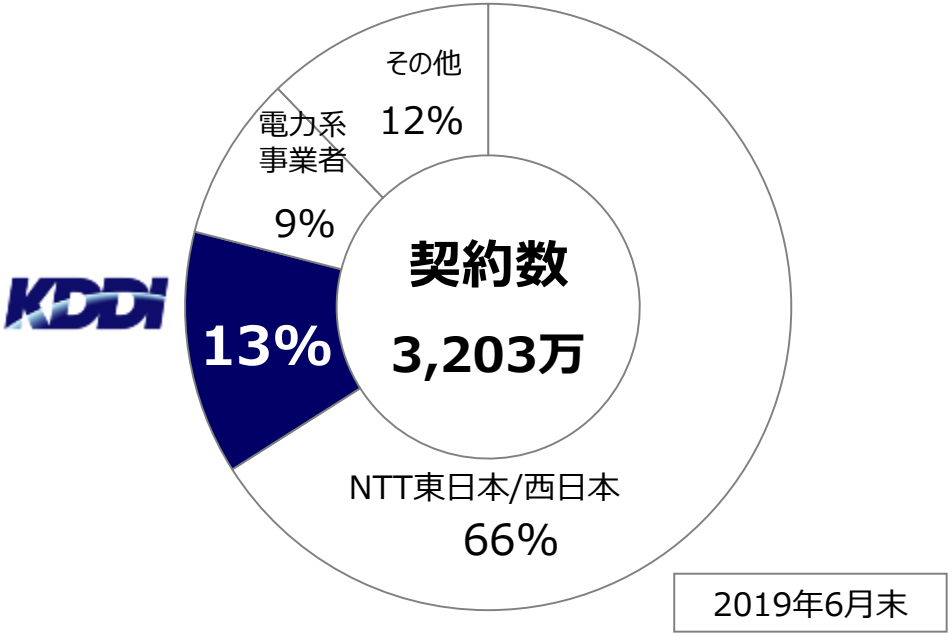
市場シェア



出典：3社間シェア（NTTドコモ,ソフトバンク,au）PHSを除く ※四捨五入ベース
一般社団法人電気通信事業者協会、事業者別契約数

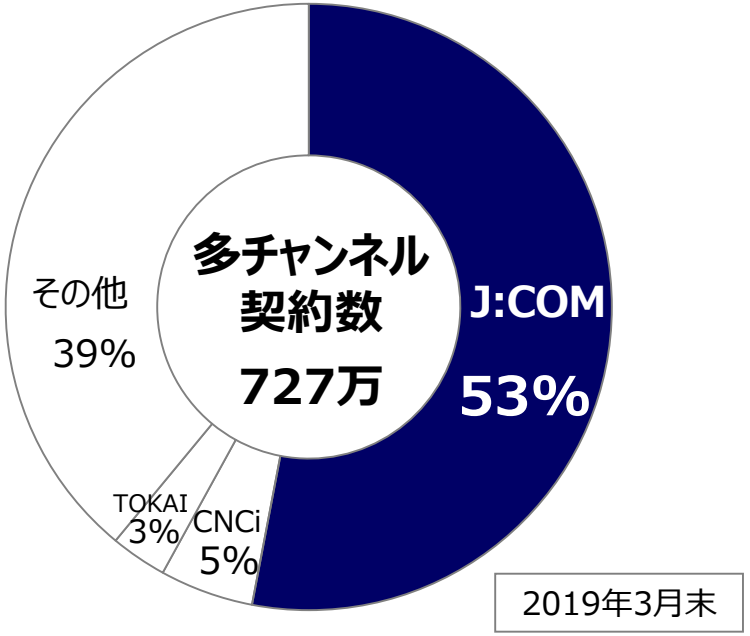
日本の固定通信市場

光ファイバー(FTTH)　市場シェア



注）電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表
出典：総務省

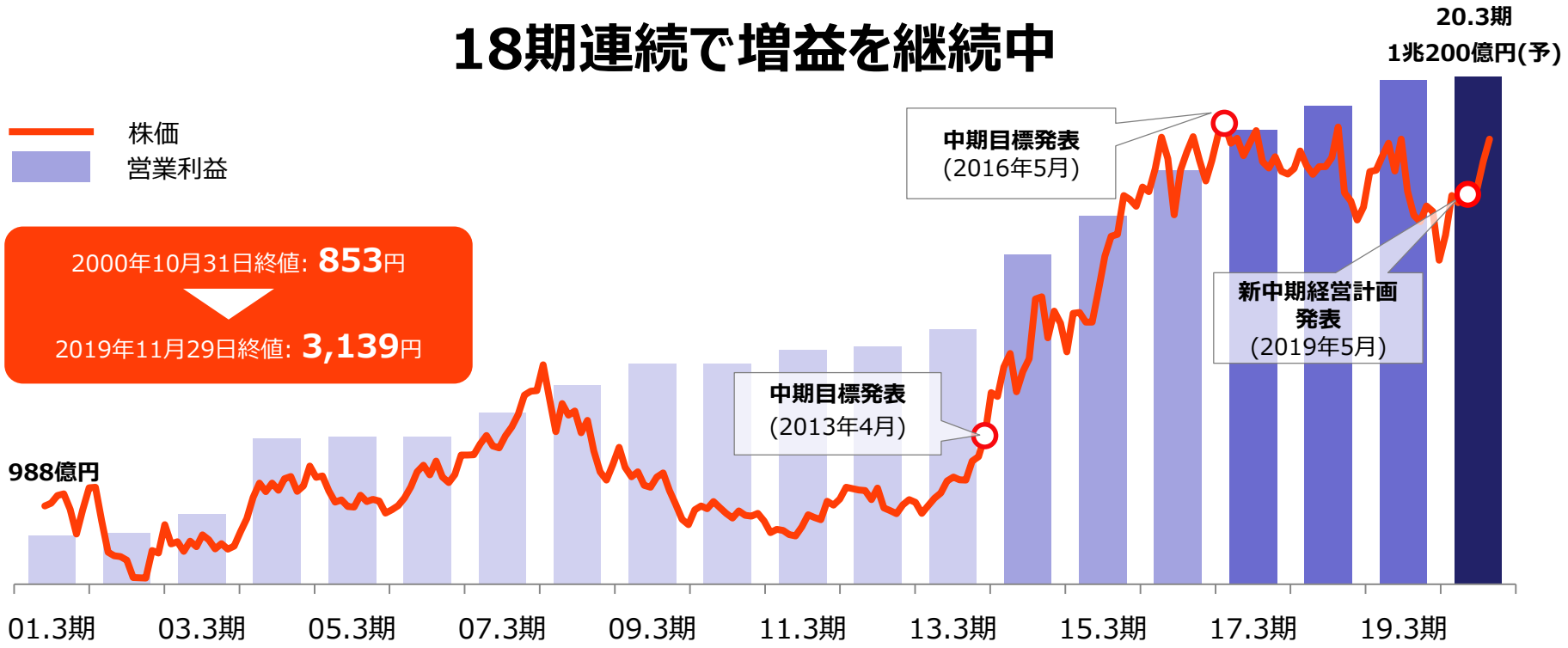
ケーブルテレビ　市場シェア



注）放送ジャーナル（2019年7月号）を基に当社作成

株価と営業利益の推移

18期連続で増益を継続中



株価推移表示期間：2000年10月31日～2019年11月29日（月次終値ベース／株式分割調整後の数値）

2. 成長戦略

2020.3期～2022.3期

中期経営計画

新中期経営計画におけるセグメント

グローバル事業を国内事業の延長に位置づけを変更

旧セグメント

- パーソナル
- ライフデザイン
- ビジネス
- グローバル

新セグメント

国内 | グローバル

パーソナルセグメント

- パーソナル ＋ ライフデザイン領域
- グローバル コンシューマ

ビジネスセグメント

- ビジネス
- グローバル ＩＣＴ

事業戦略の方向性

5G時代に向けた イノベーションの創出

通信とライフデザインの融合

グローバル事業の さらなる拡大

ビッグデータの活用

金融事業の拡大

グループとしての成長

サステナビリティ

5G時代に向けた
イノベーションの創出

あらゆるモノがつながり続け
通信が溶け込む時代へ

1990 — 1G ～2G

2000 — 3G

2010 — 4G

2020 — 5G

携帯電話（音声） → モバイルインターネット → スマートフォン → 新たなサービス

5Gで目指すお客さま体験価値

au UNLIMITED WORLD

5G対応ソリューション

通信が溶け込む時代に向け、新たな体験価値を提供

5G時代を先取りした、データ容量の上限を気にすることなく楽しめるプランを導入

パートナー企業さまとの連携で 5Gによるイノベーションを創出

スマート工場

自動運転

遠隔操作

遠隔医療

自由視点
スタジアム観戦

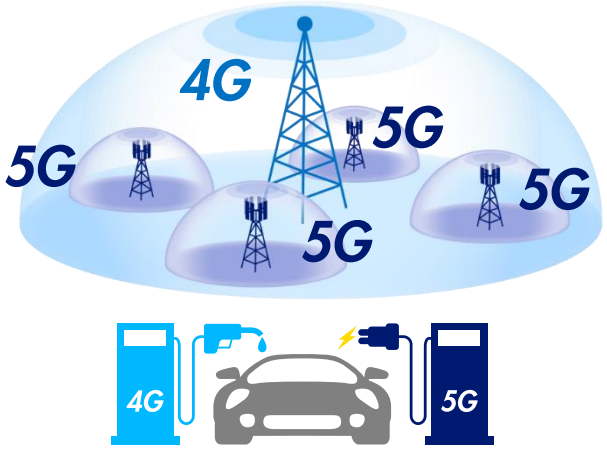
パートナー企業さま

通　信		オープンイノベーション		プラットフォーム
5G	×	KDDI DIGITAL GATE	×	5G/IoT プラットフォーム

5G時代に向けた基盤整備

高品質なエリア構築と効率的な基地局整備を両立

ネットワーク



ピカピカな4G+スペシャルな5G
＝ハイブリッドネットワーク

地方におけるインフラシェアリング

SoftBank

Tomorrow, Together
KDDI

2019年秋から北海道旭川市内、
千葉県成田市内、
広島県福山市内で共同実証予定

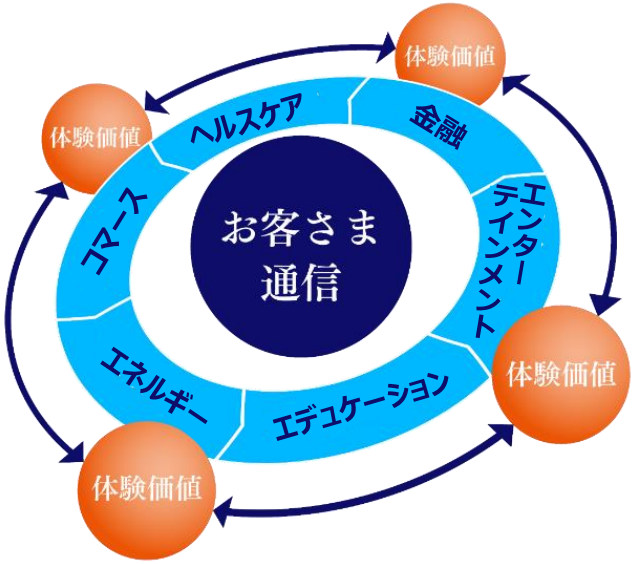
通信と
ライフデザインの融合

通信とライフデザインの融合

基盤となる通信を核に成長事業を拡大

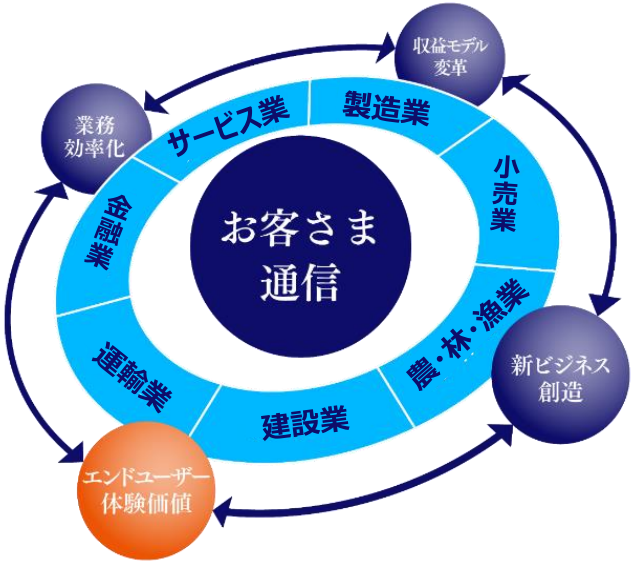
個人のお客さまに向けて

スマートフォンを起点にライフデザインサービスの事業を拡大
お客さまに「ワクワク」する体験価値をご提案する



法人のお客さまに向けて

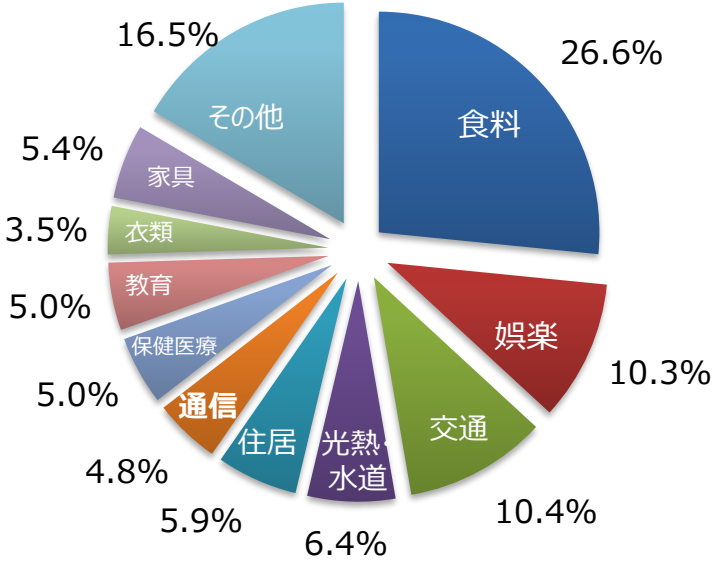
お客さまと共に新たなビジネスモデルを構築
お客さまのDX推進をサポートする



ライフデザインの事業領域

生活のあらゆるシーンにおいてお客さまとの接点を拡大

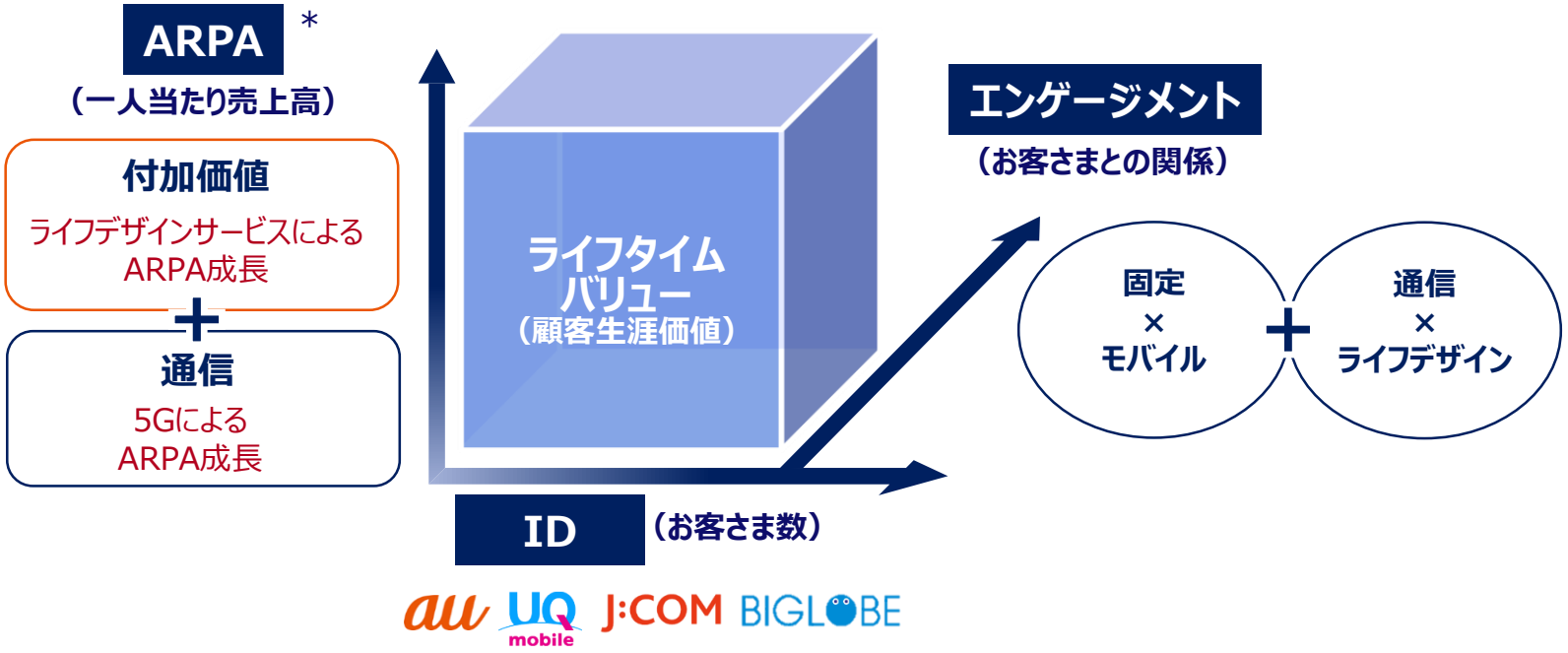
家計消費支出の構成比（2人以上の世帯）＊



（リアル）　お客さま接点　（オンライン）

*総務省「家計調査報告（家計収支編）―令和元年（2019年）9月分」に基づき当社作成

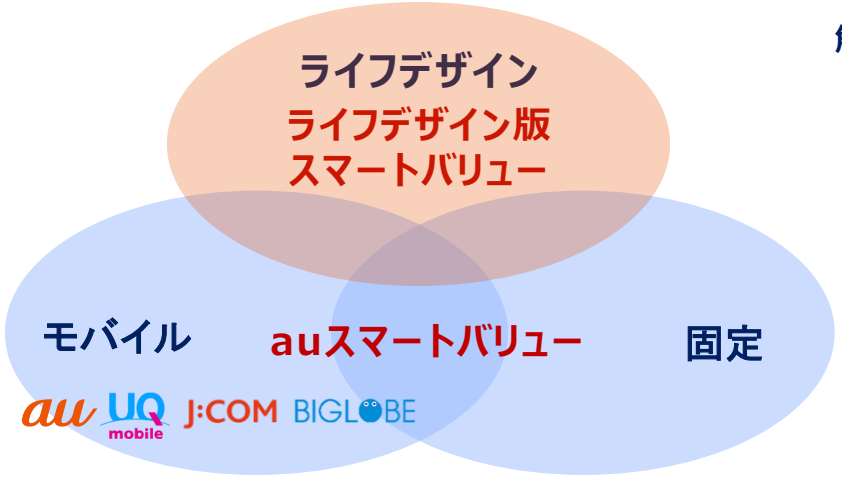
ライフタイムバリューの最大化

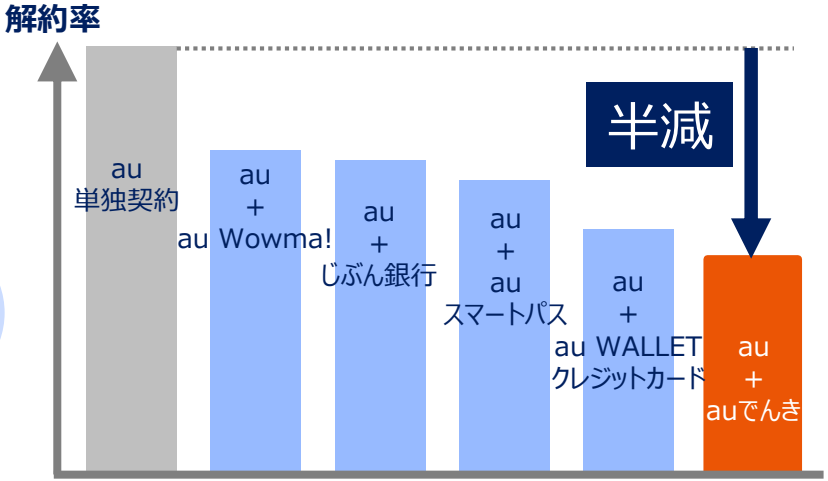


*Average Revenue Per Account

お客さまとの関係を深化

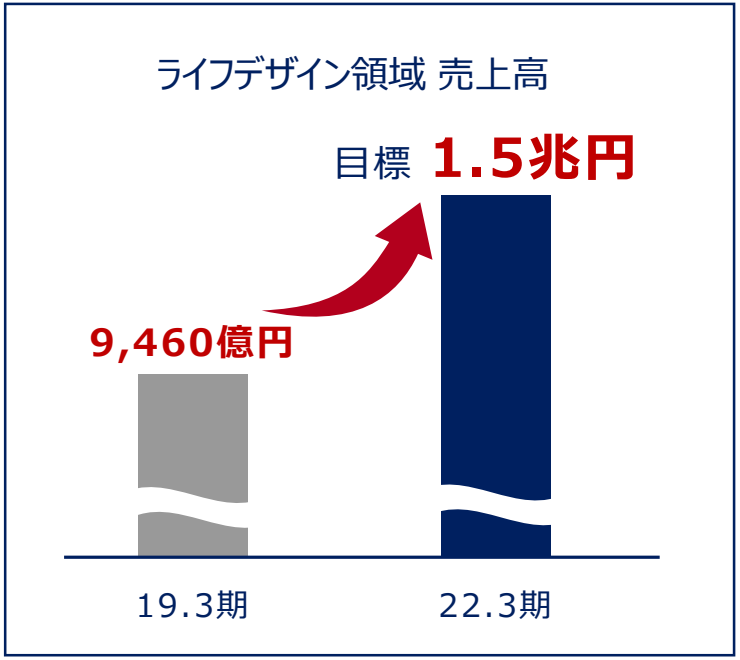
通信＋でんきやクレジットカードなどのセット利用で解約率が大幅に低減

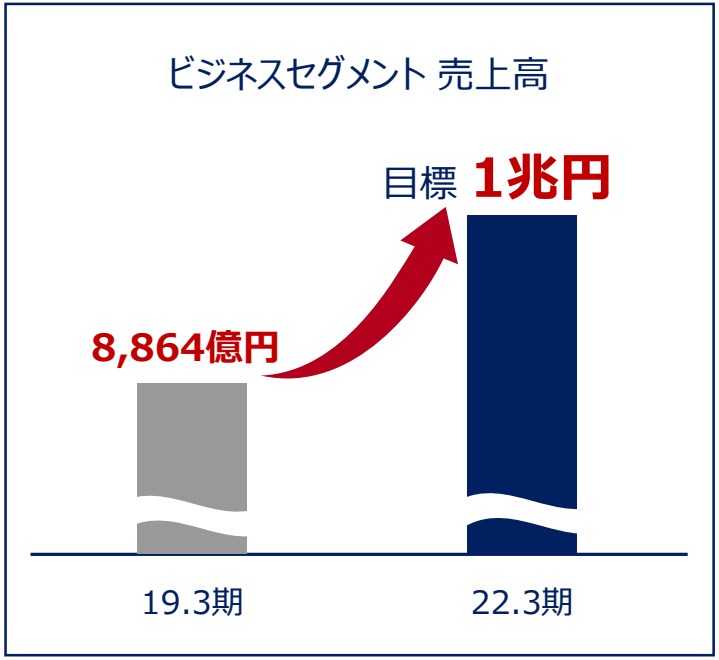




成長領域の売上拡大

通信とライフデザインの融合でさらに成長を加速





グローバル事業の
さらなる拡大

市場の拡がり

世界IoT市場へ拡大

2020年 IoT市場規模

日本
14兆円市場

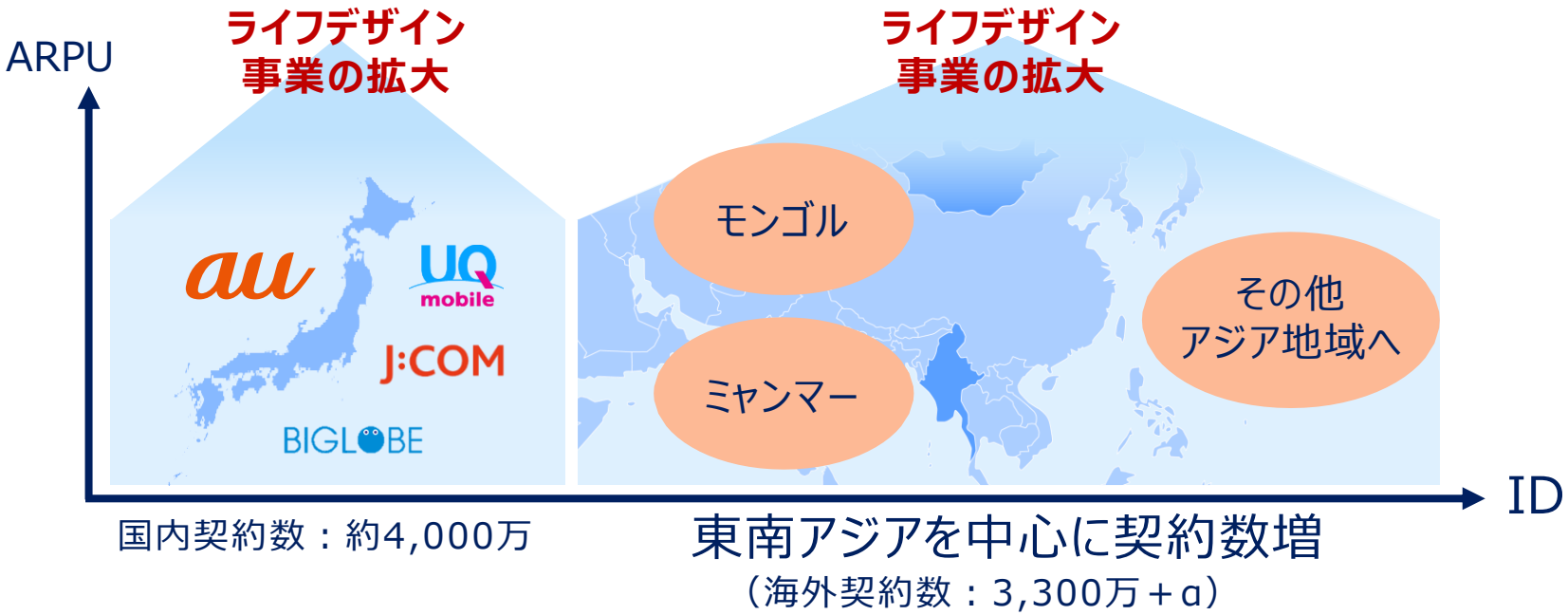
約18倍

世界
247兆円市場

※出典：JEITA「注目分野に関する動向調査2017　CPS/IoT市場の地域別・世界需要額見通し」
※ 2018年6月7日発表資料「KDDI 日立製作所　IoT事業の取り組みに関する共同会見」より抜粋

グローバルコンシューマ

「通信とライフデザインの融合」モデルを海外へ展開



グローバルICT

グローバルパートナーと共にお客さまのビジネスをサポート

つながるクルマ

TOYOTA

トヨタスマートセンター

グローバル通信
プラットフォーム

コネクティッドサービス

グローバルで
サポート

KDDI

応用・発展

あらゆるモノがつながるIoT

KDDI 「IoT世界基盤」

HITACHI

TOSHIBA

グローバル通信
プラットフォーム

SORACOM

工場・ビル設備・家電・建設機械など

金融事業の拡大

金融事業の戦略

スマートフォンで使える便利な金融サービスを拡充

銀行・証券の連携でお得なサービスを提供

じぶん銀行 × au カブコム証券

円普通預金 優遇金利プログラム

auカブコム証券でじぶん銀行自動引落（口座振替）※リアル版 を設定していただくと…

じぶん銀行の円普通預金

10倍!

通常金利*1	優遇金利*2
年0.001%（税引前）	年0.01%（税引後 年0.00796%）

2019/12/2時点

※1　円普通預金は変動金利です。
※2　毎月判定を行い、適用条件を満たしたお客さまには、上乗せ金利年0.009%（税引前） 1ヵ月分の利息を入金いたします。金融情勢の変化などにより、予告なくプログラムの内容を変更または中止する場合があります。

au割プラス

auカブコム証券口座でKDDI株式を保有のお客さま対象

割引対象	現物株式
割引条件	auカブコム証券口座でKDDI（9433）を保有されているお客さま
割引手数料	KDDI株式を保有していることを条件として、保有株数・保有期間に応じて現物株式取引手数料を0.5%～最大15%まで割引

手数料率の詳細はWEBサイトをご覧ください。
https://kabu.com/cost/discount/au_plus.html

※割引率はお客さまがauカブコム証券口座に保有しているKDDI（9433）株式保有数、保有期間によって異なります。

中期経営計画サマリー

持続的成長と、より一層の株主還元強化の両立を目指す

25.3期目標	EPS成長（一株当たり当期利益）		19.3期→25.3期 **1.5倍**
20.3期-22.3期の取組み	売上高成長	● ライフデザイン領域売上高	22.3期 目標 **1.5兆円**
		● 新ビジネスセグメント売上高	22.3期 目標 **1 兆円**
	コスト削減等		3年累計 **1,000億円規模**
	株主還元		・配当性向40%超 ・機動的な自己株買い ・全ての自己株式を消却＊

＊役員報酬BIP信託口及び株式付与ESOP信託口が保有する当社株式を除く

3. 株主還元

2019年の株主優待制度

「全国47都道府県のグルメ品」から、「au Wowma!」の商品を自由にお選びいただけるカタログギフト

(山口県)
とらふぐ刺身・
ちり鍋セット

ハム・ウインナー詰合せ（大阪府）

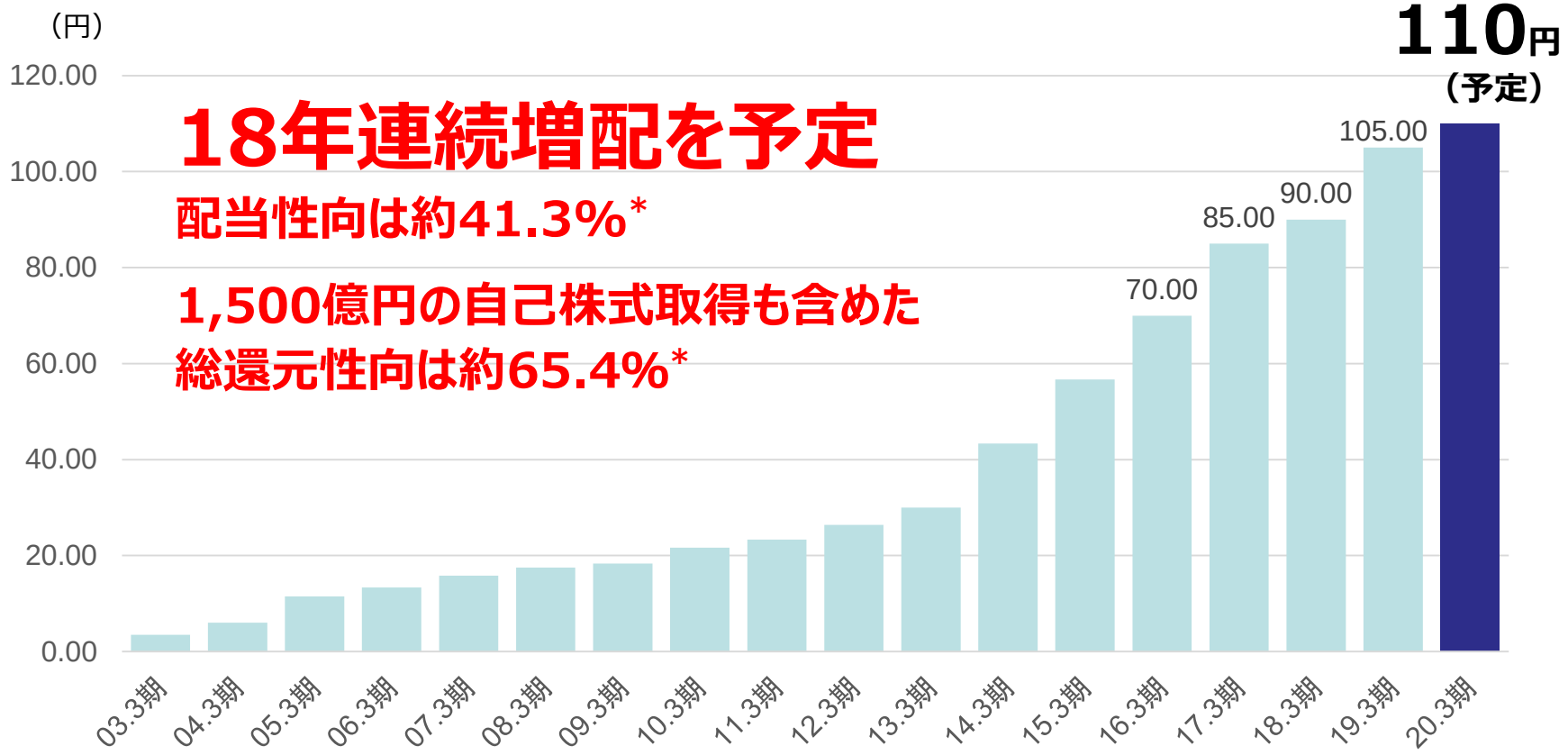
山形の極み
プレミアムデザートジュース(山形県)

（保有株式数）	5年未満	5年以上（保有期間）
1,000株以上	5,000円相当	10,000円相当
100～999株	3,000円相当	5,000円相当

＊ 今後の業績動向や会社方針などの様々な要因によって、制度の廃止を含む、優待制度そのものの見直しまたは内容変更が行われる可能性があります

＊ 3月31日時点の株主名簿に記録された、1単元（100株）以上保有の株主さまが対象

1株当たり配当金



18年連続増配を予定

配当性向は約41.3%*

1,500億円の自己株式取得も含めた
総還元性向は約65.4%*

注）株式分割調整後の値（少数第3位以下を四捨五入）　　* 2019年11月1日発表の情報を基に算出

株主還元 まとめ

	金額
最低投資金額（100株）*1	313,900円
株主優待（年1回）*2	3,000円
年間配当金（20.3期予定）	11,000円
株主優待 ＋ 年間配当金 （トータル利回り）	14,000円 （4.46%）

*1：2019年11月29日終値ベース
*2：3月31日時点の株主名簿に記録された、1単元（100株）以上保有の株主さまが対象

まとめ

【1】新中期経営計画を発表

【2】「通信とライフデザインの融合」でライフデザイン領域売上高1.5兆円（22.3期）を目指す

【3】新ビジネスセグメント売上高1兆円（22.3期）を目指す

【4】配当性向40%超、機動的な自己株買いを実施

持続的成長とより一層の株主還元強化を両立

Tomorrow, Together

おもしろいほうの未来へ。

免責事項

この配付資料に記載されている業績目標、契約数目標、将来の見通し、戦略その他の歴史的事実以外の記述はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは国内外の経済環境、競争状況、法令・規制・制度の制定改廃、政府機関の行為・介入、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。
従って、実際の業績、契約数、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。

- 当セミナーは講演企業が主催し、投資家の皆様への情報提供を目的とするセミナーでございます。auカブコム証券が特定の有価証券等を推奨することを目的としたものではありません。
- 当セミナーは、情報提供を目的としており、特定の商品の推奨や売買に関する断定的判断の提供を目的とするものではありません。
- 当セミナーにおいて、信用取引、先物・オプション取引や外国為替証拠金取引（FX）を含む当社取扱商品の勧誘を目的とした商品説明やご案内等、および証券口座開設のご案内をさせていただくことがあります。
- 当社お取扱商品へのご投資の際は、各商品に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。各商品等は価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込むおそれがあり、また商品等によっては投資元本を超える損失（元本超過損）が生じるおそれがあります。
- 各商品の手数料等は、商品、銘柄、取引金額、取引チャネル等により異なり多岐にわたるため、具体的な金額または計算方法を記載することができません。手数料等の詳細は、当社ホームページ（https://kabu.com/cost/）をご覧ください。手数料等には消費税が含まれます。
- 当セミナーは、運営上の理由その他の事情により、 当日に開催時間及び内容の変更また、開催を中止することがございます。あらかじめご了承ください。
- 当社お取扱商品の手数料等およびリスクの詳細については、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、約款・規定集および当社ホームページの「ご投資にかかる手数料等およびリスクについて」（https://kabu.com/company/info/escapeclause.htmll）等をよくお読みの上、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任でおこなってください。

au カブコム証券
A member of MUFG

金融商品取引業者登録：関東財務局長（金商）第61号
銀行代理業許可：関東財務局長（銀代）第8号
電子決済等代行業者登録：関東財務局長（電代）第18号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会